第80回（一社）日本脳神経外科学会
中国四国支部学術集会

プログラムおよび講演要旨

平成27年12月5日（土）

会場　かがわ国際会議場

〒760-0019　香川県高松市サンポート2-1　タワー棟 6F

会長　田宮　隆
（香川大学医学部 脳神経外科）

会場のご案内

〈交通アクセス〉

● JR高松駅	サンポート高松内（徒歩3分）
● ことでん高松築港駅	徒歩5分
● 高松港	サンポート高松内（徒歩2分）
● 高松自動車道	高松中央I.C.より車で約20分 高松西I.C.より車で約20分
● 高松空港	ことでん高松空港連絡リムジンバス JR高松駅行き約40分

会場案内図

タワー棟　　ホール棟

ご 案 内

☆参加者の皆様へ

・12月5日（土）午前8時30分より受付を開始します。

・参会受付は、（一社）日本脳神経外科学会IC会員カードを利用いたします。IC会員カードをお持ちの方は、必ずご持参の上、受付にてご自身のIC会員カードをICカードリーダーに読み取らせ、参会受付、専門医クレジット（専門医の方のみ）の登録を行ってください。その後、ネームカード（領収証）をお渡しします。IC会員カードをお持ちでない方は、受付にてお申し出ください。

・参会費（2,000円）は、現金でお支払いくださいますようお願いします。クレジットカード決済は受け付けできません。

・プログラムおよび講演要旨集は学会当日必ずご持参ください。

・ご希望の方には、受付にて1部1,000円で販売しますが、ご用意できる数には限りがありますのでご了承ください。

・国際会議場の会場内は飲食禁止となっております。ランチョンセミナー以外での飲食はお控えください。

☆座長・コメンテーターの皆様へ

・担当セッション開始10分前までに、次座長席におつきください。

☆演者の皆様へ

講演時間：6分
討論時間：3分
発表形式：コンピュータPCプレゼンテーション

・ご発表の10分前までに次演者席にお着きください。

・ご発表の1時間前（最初のセッションは30分前）までに会場前のPC受付にて受付を行ってください。

・ご発表データにつきましては、PC受付にWindows MS PowerPoint 2003～2013のバージョンで作成したものを、USBフラッシュメモリーまたはCD-Rにてお持ちく

ださい。ただし動画を含む場合や、Macintoshをご使用の方は、ご自身のPC本体をお持ち込みください。

・フォントは特殊なものではなく、PowerPointに設定されている標準フォントをご使用ください。また、ご自身のPC以外でも文字化け等がなくデータを読み込めるかどうかを事前にご確認ください。

・音声の使用はできません。

・当日の発表の際の操作は発表者にて行っていただきます。

・ご発表のデータは学会終了後、事務局で責任を持って消去いたします。

・PC本体をお持込みの場合には、以下お気をつけください。

＊PC受付（各会場前）にて、必ず試写をおこなってください。

＊会場でご用意するPCケーブルコネクタの形状は、D-SUB mini 15pin（図参照）です。この出力端子をもつパソコンをご用意いただくか、この形状に変換するコネクタを必要とする場合には必ずご持参ください。

（図）

＊電源ケーブルはお忘れ無くお持ちください。

＊HDML端子についても、同様に変換ケーブルをお持ちください。

・発表スライドの1枚目に、筆頭演者のCOI状態について開示するスライドの作成をお願いいたします。詳細は次頁の「COI状態の開示」をご参照ください。

☆COI状態の開示について

日本医学会のCOIガイドライン改訂を受け、一般社団法人日本脳神経外科学会のCOI指針・細則が平成26年11月1日に改訂されました。

＜改訂点＞

1）申告・開示の対象期間が過去1年間から過去3年間に拡大された、2）寄付講座や奨学寄附金などの外部資金で雇用されている研究者については、従来のように母教室だけの所属名ではなく、寄付講座名や資金提供企業を明記することが必要になった、という2点です。

過去3年間のCOI自己登録（オンラインでの登録）が完了していない、入会後3年未満の演者の先生は、自己申告書（紙媒体）の御提出をお願いします（日本脳神経外科学会ホームページ「COI（利益相反）について」に専用フォームがございます）。第80回運営事務局にお送りください。当日受付でのご提出でも結構です。学会終了後にまとめて日本脳神経外科学会事務局に提出いたします。

寄付講座在籍の研究者や奨学寄附金などの外部資金によって雇用されている研究者の演題発表における演者の所属の示し方については、所属は従来のように母教室名だけを表示するのではなく、所属施設・機関で使われる正式名称を記載し（母教室の併記は可能）、その資金を提供している企業名を併記すること、複数の企業からの寄付金や外部資金による場合は年間200万円以上の企業については該当する企業名をすべて記載してください。

詳しくは【一般社団法人日本脳神経外科学会ホームページ】をご参照ください。

※過去3年間のCOI自己登録が完了していない場合には、演題登録・学会発表が行えません。
発表時には次のスライドを準備してCOI状態について開示をお願いします。

☆演題発表に際してのCOI状態に関する開示例

1) 開示すべきCOIがない場合のスライド

脳動脈瘤の外科治療（演題名）

日本脳神経外科病院（施設名）

脳外科　太郎（氏名）

筆頭演者は日本脳神経外科学会へ過去３年間のCOI自己申告を完了しています
本演題の発表に際して開示すべきCOIはありません

2) 開示すべきCOIがある場合のスライド

脳動脈瘤の外科治療（演題名）

日本脳神経外科病院（施設名）

脳外科　太郎（氏名）

筆頭演者は日本脳神経外科学会へ過去３年間のCOI自己申告を完了しています

筆頭演者のCOI開示

日本脳神経外科学会へのCOI自己申告を完了しており、
過去３年間（いずれも１月～１２月）において本講演に関して開示すべきCOIは以下の通りです

1. 役員，顧問職	なし	金額は開示不要
2. 株の保有	なし	
3. 特許権使用料	なし	
4. 講演料	あり（○○製薬）	
5. 原稿料	なし	
6. 研究費	あり（○○製薬）	
7. その他	なし	

日本脳神経外科病院（施設名）

脳外科　太郎（氏名）

寄付講座在籍の研究者や奨学寄付金などの外部資金によって
雇用されている研究者からの演題応募の場合には
所属は母教室ではなく、所属施設・機関で使われる正式名称を記載し
その資金を提供している企業名を併記することが求められる

寄付講座のみ表記

○○大学　YZ寄付講座（同寄付講座はA製薬の寄付金にて支援されている）

or

寄付講座と母教室の併記

○○大学　脳神経外科・YZ寄付講座（同寄付講座はA製薬の寄付金にて支援されている）

複数の企業からの寄付金や外部資金による場合は
年間200万円以上の企業については該当する企業名をすべて記載

☆支部理事会

・12月4日（金）17：00～18：00

タワー棟 7F ビジネスルームにて行います。支部理事の方はご参集ください。なお、7Fの入り口は閉鎖しておりますので、6Fより棟内にお入りいただき、階段にて7Fへご移動いただきますようお願いいたします。

☆支部総会

・12月5日（土）13：45～14：05

☆ランチョンセミナー

・12月5日（土）11：50～13：20

「悪性グリオーマへの新たな挑戦 －GBMの克服を夢見て－」

座長　徳島大学 脳神経外科
　　永廣 信治 先生

演者　愛媛大学 脳神経外科
　　大西 丘倫 先生

「高次脳機能障害と脳外科医」

座長　山口大学 脳神経外科
　　鈴木 倫保 先生

演者　鳥取大学 脳神経外科
　　渡辺 高志 先生

共催：カールツァイスメディテック株式会社

☆第79回（一社）日本脳神経外科学会中国四国支部学術集会 優秀論文賞受賞者表彰式および受賞講演

・12月5日（土）13：20～13：40

開催日：平成27年4月11日（土）・12日（日）
会　長：栗栖　薫 先生（広島大学 脳神経外科）

優秀論文賞受賞演題と演者

演題番号8
造影MRIにて破裂瘤を同定し得た多発脳動脈瘤の1例
岡山旭東病院 脳神経外科
小割 健太郎 先生

演題番号11
くも膜下出血後周術期管理の変化
島根県立中央病院 脳神経外科
米澤　潮 先生

演題番号31
テント上下より摘出した孤立性線維性腫瘍の1例
香川労災病院 脳神経外科
畝田 篤仁 先生

・受賞者の先生方は、受賞講演（5分程度）をお願いいたします。12時20分までに会場前のPC受付にて動作確認を行ってください。

☆FD講習会

・12月5日（土）10：00～11：00

☆医療安全講習会

・12月5日（土）14：30～15：30

・FD講習会および医療安全講習会は、ホール棟 6F 61会議室にて開催いたします。別会場となりますので、ご注意ください。

・受講は、学術集会参加者を対象に先着100名まで可能です。受付は講習開始20分前から講習会会場にて行います。

・受講確認は、（一社）日本脳神経外科学会IC会員カードを利用します。受講希望の方はご自身のIC会員カードをお持ちください。IC会員カードをお持ちでない方は、受付にてお申し出ください。

・本学術集会では、日本脳神経外科学会学術総会または日本脳神経外科コングレスにおいて行われた医療安全講習及びFD講習をビデオ上映いたします。

・最初から最後まで視聴していただくことを受講要件とします。

☆過去優秀論文賞受賞者リスト

第75回　平成25年4月6日（土）・4月7日（日）

川崎医科大学 脳神経外科
高井 洋樹 先生

東広島医療センター 脳神経外科
今田 裕尊 先生

社会医療法人近森会近森病院 脳神経外科
西本 陽央 先生

第76回　平成25年12月7日（土）

広島市立安佐市民病院 脳神経外科
村上 太郎 先生

岡山大学大学院 脳神経外科
近藤 聡彦 先生

島根大学医学部 脳神経外科
江田 大武 先生

第77回　平成26年4月5日（土）・4月6日（日）

松山赤十字病院 脳神経外科
瀬山　剛 先生

呉医療センター・中国がんセンター 脳神経外科
米澤 公器 先生

徳島大学 脳神経外科
山口 真司 先生

第78回　平成26年12月6日（土）

香川県立中央病院 脳神経外科
藤森 健司 先生

山口大学大学院医学系研究科 脳神経外科
山根 亜希子 先生

東広島医療センター 脳神経外科
桑原 政志 先生

第80回（一社）日本脳神経外科学会
中国四国支部学術集会 日程表

タワー棟 6F 国際会議場

8:55
9:00 開会挨拶

一般演題１「血管障害１」１～４
座長：渡邊 英昭
コメンテーター：菱川 朋人

9:36

一般演題２「血管障害２」５～８
座長：篠山 瑞也
コメンテーター：福井 直樹

10:12

一般演題３「脳動脈瘤」９～13
座長：松原 俊二
コメンテーター：坂本　誠

10:57

一般演題４「感染」14～18
座長：井川 房夫
コメンテーター：安原 隆雄

11:42
11:50

ランチョンセミナー

悪性グリオーマへの新たな挑戦 －GBMの克服を夢見て－
座長：永廣 信治　演者：大西 丘倫

高次脳機能障害と脳外科医
座長：鈴木 倫保　演者：渡辺 高志

共催：カールツァイスメディテック株式会社

13:20
第79回支部学術集会 表彰式・受賞講演
13:40
13:45
支部総会
14:05
14:15

一般演題５「脳腫瘍１」19～23
座長：宮嵜 健史
コメンテーター：大上 史朗

15:00

一般演題６「脳腫瘍２」24～28
座長：松崎 和仁
コメンテーター：黒崎 雅道

15:45

一般演題７「内視鏡手術・定位放射線治療」29～33
座長：野村 貞宏
コメンテーター：三宅 啓介

16:30

一般演題８「機能・画像診断」34～39
座長：溝渕 佳史
コメンテーター：松下 展久

17:24
17:30 閉会挨拶

ホール棟 6F 61会議室

9:40
受付
10:00
FD講習会
11:00
14:10
受付
14:30
医療安全講習会
15:30

第80回（一社）日本脳神経外科学会
中国四国支部学術集会 プログラム

8:55～9:00　開会挨拶　　会長：田宮　隆（香川大学）

9:00～9:36　血管障害1　　座長：渡邊 英昭（愛媛大学）
コメンテーター：菱川 朋人（岡山大学）

1　特発性頚椎硬膜外血腫と同様の経過から再出血をきたした頚椎硬膜外動静脈瘻の1例

岡山旭東病院　脳神経外科[1]
岡山旭東病院　神経内科[2]
溝渕 雅之[1]，小割 健太郎[1]，佐藤 元美[1]，津野 和幸[1]，
中嶋 裕之[1]，吉岡 純二[1]，土井 章弘[1]，河田 幸波[2]

2　舌骨の反復的な刺激により発症した頚動脈狭窄症の1例

呉医療センター・中国がんセンター　脳神経外科
田口 慧，大庭 信二，伊藤 陽子，大下 純平，
米澤 公器

3　機械的刺激により生じた頚部頚動脈仮性動脈瘤から出血を来した1例

広島大学大学院医歯薬保健学研究院　脳神経外科学
一ノ瀬 信彦，岐浦 禎展，坂本 繁幸，岡崎 貴仁，
石井 大造，品川 勝弘，栗栖 薫

4　総頚動脈の遮断困難により術中にCEAを断念した1例

岩国医療センター　脳神経外科
村井 智，馬越 通有，伊丹 尚多，大塚 真司，日下 昇，
荻原 浩太郎，西浦 司

9:36～10:12　血管障害2　　座長：篠山 瑞也（山口大学）

コメンテーター：福井 直樹（高知大学）

5　中大脳動脈瘤に対するlow flow bypass下母血管閉塞にIndocyanine green（ICG）蛍光血管造影が有用であった一例

山口大学大学院医学系研究科　脳神経外科[1]
健和会大手町病院　脳神経外科[2]
清平 美和[1]，篠山 瑞也[1]，五島 久陽[1]，石原 秀行[1]，
奥 高行[1]，山根 亜希子[1]，貞廣 浩和[2]，野村 貞宏[1]，
鈴木 倫保[1]

6　初回手術でのSTA前頭枝切断症例に、工夫を加えることでSTA-MCA double anasotomosesを施行し得た出血発症成人片側モヤモヤ病の1例

愛媛県立中央病院　脳卒中センター　脳神経外科[1]
愛媛県立新居浜病院　脳神経外科[2]
井上 明宏[1]，河野 兼久[1]，福本 真也[1]，市川 晴久[1]，
尾上 信二[1]，宮崎 始[1]，尾崎 沙耶[1]，岩田 真治[1]，
麓 憲行[2]

7　抗リン脂質抗体症候群合併の診断が遅れ脳出血周術期管理に難渋した一例

市立三次中央病院　脳神経外科
高野 元気，浜崎 理，築家 秀和

8　Fabry病に合併した脳底動脈瘤の1例

鳥取市立病院　脳神経外科[1]
鳥取市立病院　循環器内科[2]
谷浦 晴二郎[1]，赤塚 啓一[1]，森田 涼香[2]，田渕 真基[2]，
森谷 尚人[2]

10:12～10:57　脳動脈瘤　座長：松原 俊二（川崎医科大学）

コメンテーター：坂本　誠（鳥取大学）

9　妊娠8週でくも膜下出血を発症した1例

厚生連尾道総合病院　脳神経外科[1]
広島大学大学院医歯薬保健学研究院　脳神経外科学[2]
上田 猛[1]，磯部 尚幸[1]，西本 武史[1]，岐浦 禎展[2]

10　上小脳動脈末梢部破裂動脈瘤の1例

翠清会梶川病院　脳神経外科
石井 洋介，若林 伸一，須山 嘉雄，相原 寛，梶川 博

11　片側内頚動脈無形成に前交通動脈瘤合併した1例

川崎医科大学　脳神経外科
木下 景太，安積 麻衣，平井 聡，松下 展久，
戸井 宏行，松原 俊二，宇野 昌明

12　頭蓋内多発性解離性脳動脈瘤の1例

広島赤十字・原爆病院　脳神経外科
隅田 昌之，村上 太郎

13　部分血栓化破裂後大脳動脈瘤の一例

下関市立市民病院　脳神経外科
藤岡 寛，尾中 貞夫，中村 隆治

10:57～11:42　感染　　座長：井川 房夫（広島大学）
コメンテーター：安原 隆雄（岡山大学）

14　皮質下出血の再発を認めた感染性心内膜炎に併発した細菌性脳動脈瘤の1例

岡山市立市民病院　脳神経外科
河内 哲，井上 智，大谷 理浩，渡邊 恭一，桐山 英樹，
徳永 浩司，松本 健五

15　胃瘻増設術後に大腸菌感染による硬膜下膿瘍を認めた一例

おさか脳神経外科病院
久松 芳夫，豊田 康則，林 直樹，苧坂 直博，
苧坂 邦彦

16　慢性硬膜下血腫と鑑別が困難であった感染性硬膜下血腫の1例

島根大学医学部　脳神経外科
江田 大武，宮嵜 健史，中川 史生，吉金 努，
神原 瑞樹，萩原 伸哉，大洲 光裕，永井 秀政，
秋山 恭彦

17　歯周囲感染症から続発した硬膜下膿瘍の一例

香川県立中央病院　脳神経外科
藤森 健司，藏本 智士，勝間田 篤，小野 恭裕，
合田 雄二，河内 正光

18　穿頭術後に感染を併発した慢性硬膜下血腫の一例

労働者健康福祉機構香川労災病院　脳神経外科
鈴木 健太，畝田 篤仁，大久保 修一，平下 浩司，
柚木 正敏，吉野 公博

11:50～13:20　ランチョンセミナー

座長：永廣 信治（徳島大学　脳神経外科）

悪性グリオーマへの新たな挑戦
－GBMの克服を夢見て－

愛媛大学　脳神経外科
大西 丘倫

座長：鈴木 倫保（山口大学　脳神経外科）

高次脳機能障害と脳外科医

鳥取大学　脳神経外科
渡辺 高志

共催：カールツァイスメディテック株式会社

13:20～13:40　第79回支部学術集会　表彰式・受賞講演

13:45～14:05　支部総会

14:15〜15:00　脳腫瘍1　　座長：宮嵜 健史（島根大学）
コメンテーター：大上 史朗（愛媛大学）

19　テモゾロミドによる薬剤性血栓性微小血管障害症を強く疑った退形成性星細胞腫の一例

倉敷中央病院　脳神経外科[1]
倉敷中央病院　血液内科[2]
小林 雅子[1]，黒崎 義隆[1]，安田 貴哉[1]，山田 大輔[1]，
上里 弥波[1]，高山 直樹[1]，紀之定 昌則[1]，川崎 敏生[1]，
高田 芽[1]，松本 直樹[1]，福田 仁[1]，半田 明[1]，
永山 隆史[2]，上田 恭典[2]，沈 正樹[1]，山形 専[1]

20　Noonan syndromeに合併したhigh grade gliomaの1例

徳島赤十字病院　脳神経外科
西山 徹，松崎 和仁，石原 学，花岡 真実，佐藤 浩一，
三宅 一

21　経頭蓋摘出を行った前頭洞粘液嚢腫の1例

中国労災病院　脳神経外科[1]
中国労災病院　リハビリテーション科[2]
厚生連吉田総合病院　脳神経外科[3]
山田記念病院　脳神経外科[4]
橋本 尚美[1]，右田 圭介[1]，熊野 潔[1]，三好 浩之[1]，
豊田 章宏[2]，沖田 進司[3]，川本 仁志[4]

22　Denosumabによる加療を施行した斜台部骨巨細胞腫の1例

愛媛大学大学院医学系研究科　脳神経外科学[1]
愛媛県立中央病院　脳卒中センター　脳神経外科[2]
愛媛大学大学院医学系研究科　耳鼻咽喉科・頭頸部外科学[3]
西川 真弘[1]，高野 昌平[1]，井上 明宏[2]，西田 直哉[3]，
大上 史朗[1]，大西 丘倫[1]

23　Pancreatic neuroendocrine tumor（PNET）の脳転移の一例

岡山赤十字病院　脳神経外科
神原 啓和，小田 智聡，西田 あゆみ，小野田 恵介

15:00〜15:45　脳腫瘍２　座長：松崎 和仁（徳島赤十字病院）
コメンテーター：黒崎 雅道（鳥取大学）

24　リング状増強効果を示し、脳腫瘍との鑑別困難であった海綿状血管腫の１例

広島市立広島市民病院　脳神経外科
冨田 陽介，細本 翔，髙橋 悠，大熊 佑，田邉 智之，
村岡 賢一郎，目黒 俊成，広常 信之，西野 繁樹

25　トルコ鞍原発悪性腫瘍の１例

県立広島病院　脳神経外科[1]
県立広島病院　臨床研究検査科[2]
県立広島病院[3]
迫口 哲彦[1]，富永 篤[1]，溝上 達也[1]，竹下 真一郎[1]，
籬 拓郎[1]，近藤 浩[1]，露口 冴[1]，木矢 克造[3]，西阪 隆[2]

26　腫瘍内部に膿瘍を形成した中枢神経原発リンパ腫の１例

徳島県立中央病院　脳神経外科[1]
徳島県立中央病院　病理・検査科[2]
田村 哲也[1]，新野 清人[1]，高瀬 憲作[1]，本藤 秀樹[1]，
工藤 英二[2]

27　Myelodysplastic syndromesを合併したglioblastomaの１例

香川大学医学部　脳神経外科
入江 恵一郎，畠山 哲宗，菅田 峻光，小川 大輔，
岡田 真樹，岡内 正信，新堂 敦，川西 正彦，
三宅 啓介，田宮 隆

28　髄膜腫におけるエンボスフィアの術前腫瘍栄養血管塞栓術

島根県立中央病院　脳神経外科
米澤 潮，井川 房夫，日高 敏和，光原 崇文，
黒川 泰玄

15:45〜16:30　内視鏡手術・定位放射線治療

座長：野村 貞宏（山口大学）

コメンテーター：三宅 啓介（香川大学）

29　特発性髄液鼻漏の一手術例

鳥取大学医学部　脳神経外科[1]
鳥取大学医学部　耳鼻咽喉頭頸部外科[2]
小椋 貴文[1]，石橋 美名子[1]，黒崎 雅道[1]，渡辺 高志[1]，
中村 陽祐[2]，竹内 裕美[2]

30　神経サルコイドーシスにおける神経内視鏡所見

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター
政平 訓貴，大西 広一，太田 剛史，足立 拓優，
松岡 賢樹，福田 真紀，岡田 憲二，森本 雅徳

31　内視鏡単独手術にて全摘し得たモンロー孔海綿状血管腫の1例

岡山大学大学院　脳神経外科
松本 悠司，黒住 和彦，島津 洋介，市川 智継，
伊達 勲

32　ガンマナイフにて放射線壊死性嚢胞を生じ、照射から21年後に嚢胞内出血を繰り返すようになったAVMの1例

山田記念病院　脳神経外科
今田 裕尊，山田 徹，川本 仁志

33　サイバーナイフ治療後9年目に発症した遅発性放射線壊死の1例

三豊総合病院　脳神経外科
原田 彰雄，斉藤 信幸，正岡 哲也

16:30〜17:24　機能・画像診断

座長：溝渕 佳史（徳島大学）

コメンテーター：松下 展久（川崎医科大学）

34　椎骨動脈が関与した片側顔面痙攣の2症例

高松赤十字病院　脳神経外科
小川 智也，香川 昌弘，井 陽輝，香月 教寿

35　三叉神経痛を生じたくも膜嚢胞の一例

山口県立総合医療センター　脳神経外科
浦川 学，林田 修，安田 浩章，長綱 敏和，
金子 奈津江，山下 哲男

36　三叉神経痛の神経血管接触（NVC）部位における圧迫血管血流の数値流体力学（CFD）解析

涼風会佐藤脳神経外科[1]
岡山赤十字病院　脳神経外科[2]
岡山大学大学院　脳神経外科[3]
佐藤 透[1]，小野田 恵介[2]，伊達 勲[3]

37　MRI CUBE T1が診断の一助となった前大脳動脈解離による脳梗塞の一例

徳島赤十字病院　脳神経外科[1]
徳島県立三好病院　脳神経外科[2]
徳島大学病院　脳神経外科[3]
高知赤十字病院　脳神経外科[4]
徳島大学病院　神経内科[5]
四国こどもとおとなの医療センター　脳神経外科[6]
松田 拓[1]，住吉 学[2]，山口 泉[3]，曽我部 周[4]，
吉岡 正太郎[3]，山本 伸昭[5]，多田 恵曜[3]，八木 謙次[3]，
桑山 一行[6]，里見 淳一郎[3]，永廣 信治[3]

38　MRIで明らかとなったテルソン症候群

東広島医療センター　脳神経外科
清水 陽元，勇木 清，貞友 隆，原 健司，大庭 秀雄

39　Rhabdoid glioblastomaの一例

高知大学医学部　脳神経外科
近藤 雄一郎，野中 大伸，濱田 史泰，川西 裕，
上羽 佑亮，中居 永一，福井 直樹，上羽 哲也

17:24～17:30　閉会挨拶　　会長：田宮　隆（香川大学）